(昭和30年6月15日第三種郵便物認可) 第2898号

LIBERAL&DEMOCRATIC 自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100－8910
東京都千代田区永田町1－11－23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
定価1部 110円(税込み)
＜毎週火曜日発行＞
自由民主党ホームページ URL http://www.jimin.jp/

閉会中審査で国民の声を反映

与野党合意の下、国会は6月17日の閉会後も新型コロナウイルスや豪雨災害への対応を中心に審議を継続。わが党議員は立法府の一員としての役割を果たすため真摯に質疑に臨んでいる。

わが党は「しっかり政に反映させていく」国民の声を吸い上げ、（二階俊博幹事長）と現場の状況を直ちに国の方針の下、通常国会閉会後も新型コロナウイルス対策をはじめ、令和2年7月豪雨やイージスアショアの配備プロセス中止など、わが国が直面する喫緊の諸課題について政府の対応を聞くとともに、「責任政党として建設的な提案を行っている（これまでに開かれた委員会は別掲）。

8月19日と20日の両日は、衆参で厚生労働委員会が開かれ、わが党会派から安藤高夫衆院議員と本田顕子参院議員が質問に立った。

党新型コロナウイルス対策医療系議員団本部（本部長・冨岡勉衆院議員）のメンバーとしても精力的に活動している両議員は、保健所とかかりつけ医の連携強化、PCR検査体制の強化などを求めたほか、治療薬・ワクチンの開発や国際共同購入に向けた準備の状況などについて聞いた。

新型コロナ対策などを審議した参院厚生労働委員会

有事に備えた医療体制を 有識者からヒアリング

党新型コロナウイルス関連肺炎対策本部の下にある感染症対策ガバナンス小委員会（委員長・武見敬三参院議員）は8月18日、感染症有事に対応可能な医療体制の在り方について有識者からのヒアリングを行った。

東京都北区保健所長の前田秀雄氏は、一連の対策を巡る保健所の役割を説明したほか、感染拡大時に専用の外来・病床へ転用可能な病床の整備など、新興感染症の流行を前提とした新たな医療体制の枠組みを検討するよう促した。

また、「指定感染症」（2類相当）である新型コロナウイルス感染症は陽性者の入院が対応の軸になっているが、前田氏は、軽症者が多いことなどから、入院は治療のため必要な場合にのみ行い、宿泊療養や自宅療養をより積極的に活用するよう提案した。

東京都医師会長の尾崎治夫氏は、感染症有事における公的病院の責務の明確化、新型コロナ専門病院の設置による知見の蓄積・院内感染の防止といった医療提供体制の見直しに加え、社会経済活動の活性化に応じた検査体制の拡充や、感染症対策を担う人材の育成などを求めた。

東京大学名誉教授の岩本愛吉氏は、わが国におけるPCR検査の件数や利便性がまだ十分ではないとの見解を示すとともに、ロボット技術を活用した検査工程の自動化や、感染症対策における自治体間の広域連携などに取り組むべきとした。

出席議員は3氏の意見を受け、感染症有事に十分な病床や検査能力を確保するための方策などを議論した。

提言の取りまとめに決意を示す武見敬三委員長

これまでに行われた閉会中審査(8月24日現在)

〈衆院〉

【6月】
18日 沖縄及び北方問題に関する特別委員会
24日 経済産業委員会
【7月】
1日 厚生労働委員会
8日 内閣委員会、安全保障委員会
15日 予算委員会
22日 文部科学委員会
28日 災害対策特別委員会
29日 国土交通委員会
【8月】
19日 厚生労働委員会

〈参院〉

【6月】
19日 沖縄及び北方問題に関する特別委員会
22日 決算委員会
25日 経済産業委員会
【7月】
2日 厚生労働委員会
7日 決算委員会
9日 内閣委員会、外交防衛委員会
16日 予算委員会
22日 文教科学委員会
28日 災害対策特別委員会
30日 国土交通委員会
【8月】
20日 厚生労働委員会

新型コロナ あなたへの支援(自民党特設ページ)

我思う

新たな日常活動

新聞出版局次長 小寺 裕雄 衆院議員

例年7月から8月にかけては政治家にとって最も忙しい季節であった。あえて過去形にしたのは現状がそうではないからだ。改めて昨年の手帳を確認したところ行事やイベントがぎっしりと入っていて、現在との格差に驚くばかりである。また、祝賀会やパーティーの類いもほとんどが自粛状態で夜の会食もない毎日だ▼こうした状況では地元活動も変わっていかざるを得ない。これまでは招かれた行事やイベントなどを活動の中心に組み立ててきたが、今後はより積極的に地域に出向いていくことを考えている。原点に立ち返って地域を歩くことを基本としたい。あわせて小規模の集会を開催し、有権者と向き合う時間を大事にしようと考えている。朝の辻立ちは継続しているが十分と言えるものではない。これからは街頭演説の頻度を高め、夕方には駅頭で活動報告を配る計画を立てている▼ネット戦略も重要だ。SNSだけではなく動画の配信にも取り組みたい。何が正解かは分からないが、自分を信じて頑張りたい。